

今昔物語

その41

神内小学校

神内地区



昭和53年ごろ



現在

— 昔の風景写真を募集します —

広報きほうでは、みなさんのお宅に眠っている昔なつかしい風景写真を募集します。

本人またはご家族が撮影された、著作権を完全に保有されているものに限って、受け付けさせていただきます。このコーナーでご紹介させていただこうと思っています。詳しくは、役場企画調整課（☎333-0334）までお問い合わせください。

今回は、昭和53年ごろに撮影された「神内小学校」の写真をご紹介します。写真中央にある建物は当時の校舎で、昭和36年に建築された木造2階建てのものだったそうです。

昭和53年当時の児童数は37人でしたが、昭和40年代後半から始まった宅地造成や工場誘致の影響により、人口が増加し、昭和57年には児童数が88人になり、教室の不足が生じるなど授業を進めることが困難になってきたため、昭和59年に現在の校舎を建設し移転しました。

また、校舎の左側に見えるのは神内公民館で、地域の集会所としての利用のほか、小学校の体育館として、また、入学式や劇の発表の場などとして利用されていました。その後、平成7年に建て替えられ現在の神内構造改善センターとなりました。

ひょうりゅう

ナニコレ珍百景に出演

みなさんは5月24日に放送された「ナニコレ珍百景」をご覧になりましたか？そこに僕たちも出演していたのですが、いきなり紀宝町が紹介されてビックリされた方も多いのではないのでしょうか。

今回はそのときのTV取材の裏話をさせていただきます。思い出します。もともとは浅里の石切り場が投稿されたためTV局の方が3月に取材に来たのですが、その際、紀宝町にナニコレ珍百景をパクった広報紙があるということで、広報で掲載したスポットを僕たち役場の職員3人で紹介することになりました。

取材スタッフから「このコーナーを始めたきっかけは？」と聞かれ、「リスペクトです！」と答えたものの、この場を借りて告白すると、ほんとに見たことがないというのが真相です（汗）。また、普段はカメラを向けてばかりの僕ですが、向けられるのはまったく慣れていないので、普通に話したつもりでも声が小さく、声を大きくしようと意識すると話す内容を忘れ、失敗するたびどんどん焦ってしまふ悪循環に陥ってしまい、ボツになった場所を含めて、取材にはまるまる半日かかりました。

あまりにもカミカミすぎたのと、取材スタッフとのやり取りで「本当に番組見ているんですか？」など答えづらい質問を受けたことで、どんな放送になるのかドキドキしていましたが、無難にまとめられていたので、ひと安心でした。ただ、取材を受けた3人ともリアルタイムで放送を見る勇気がなく、後日気持ちが悪く落ちてから、録画したものを見ました（汗）。



出演料(?)のクリアファイル



広報担当 田中健太郎



広報担当 愛野裕子

（使われたのは一言だけ 田中健太郎）
（ザ・チキンハート 愛野裕基）